

新型コロナウイルス感染者発生時の 消毒作業マニュアル

1. 消毒作業の流れ
2. 準備する物品
3. 作業の準備(感染予防対策)
4. 消毒作業の実施
5. 消毒液の使い分けの例
6. 作業終了後のガウン等の脱ぎ方
7. 手洗い
8. 消毒液の作成

本マニュアル作成にあたり

・中部保健所並びに県立中部病院感染症内科より助言を受け
作成された「新型コロナウイルス感染者発生時の消毒マニュアル
～うるま市新型コロナウイルス感染症対策本部作成
R2年7月22日改訂～より抜粋

参照資料等

- ・「新型コロナウイルス感染予防の為に消毒方法」
沖縄県
- ・「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド」
日本環境感染学会
- ・「新型コロナウイルス対策 自分で行う消毒マニュアル」
公益社団法人日本ペストコントロール協会
- ・「事業者・職場における新型インフルエンザ対策ガイドライン」



1. 消毒作業の流れ

①感染者の発生を確認。施設長は速やかに保育幼稚園課へ連絡を行う。

※保健所、保育幼稚園課と協議のうえ臨時休園等を判断し、周知する。

②消毒エリアを選定 ※保健所指導

③保健所の助言を得て、速やかに消毒作業を実施。

※消毒作業が円滑に進むように、平常より施設内の環境整備を行う。

2. 準備する物品

【消毒物品】

- ・消毒剤（ 5.消毒薬の使い分けを参照 ）
 - ①アルコール70%以上 ②次亜塩素酸ナトリウム希釈液
 - ③台所用合成洗剤希釈液 等より選択
- ・上記②と③を使用した場合、拭き取り用の水
- ・ペーパータオル、布等
- ・ゴミ箱、ごみ袋
- ・床拭き用具
- ・洗面器、バケツ

【作業時の感染を防ぐために】

- ・マスク
- ・ゴム手袋
- ・ガウンの代用として
大き目のごみ袋やレインコート
- ・ゴーグル



3. 作業の準備(感染予防対策)

- ①まず、丁寧な手洗いをします。
または手指アルコール消毒。
- ②マスク、ゴーグル、ガウン、ゴム手袋
を着用します。

※ゴム手袋を着用する際に長袖ガウンの場合は、ゴム手袋で袖を覆う。

※ゴム手袋の手首部分がゆるい場合、ガムテープ等でゴム手袋の手首部分とガウンの袖を張り付ける。

※袖がない場合。消毒作業終了後、露出した腕を石鹸と流水で丁寧に洗います。

※ガウンがない場合には、ごみ袋や使い捨てレインコートなどで応用する。

※ごみ袋を使用する場合は、両腕と頭の部分をハサミで切り取ります。(右写真)



4. 消毒作業の実施

実施方法

- ①消毒作業を行う場所の換気をよくする。
- ②次亜塩素酸ナトリウム希釈液を洗面器等に入れてキッチンペーパー・布等に十分染みこませ、汚染箇所と思われる所をていねいに拭き取る。※アルコールの場合、揮発するため洗面器等に入れない
- ③次亜塩素酸ナトリウム希釈液には変色や金属の腐食などの副作用がある。副作用を避けるため、拭き取った場所を5分後に水拭きする。

消毒場所の例

- 事務用机まわりやイス、筆記具、カウンター、会議机、パソコンのマウスやキーボード等、電話機、コピー機棚、ドアノブ、スイッチ、エレベーターボタン、手すり、蛇口、トイレの流水レバー、便器の蓋、床など。園児用テーブル、椅子、遊具、玩具など。

作業の手順や注意事項

- ・拭き取りは一筆書きの要領でゆっくり動かして行う(戻らない)。
- ・スプレーボトルで汚染箇所に噴射はしない。(不完全な消毒やウイルスの舞い上がり防止)
- ・消毒作業は高さのある所から行う(上から下へ、床は最後に行う)。
- ・アルコールでも素材により変色等が生じることもあるため、目立たない箇所で試しておく。
- ・作業中、薬剤臭が強いと感じた場合は少しずつ間をおいて作業する。作業後、薬剤臭が強いと感じた場合は薬剤臭が消えるまで十分な換気を行い、入室を控える。
- ・拭取り後のペーパータオル、ガウン等は、密閉して「もやせるごみ」として廃棄する。
- ・消毒液の入ったボトルやゴーグルは再利用する。作業終了後(ガウン等を脱ぐ前)、アルコール等で消毒し、返却する。

5. 消毒液の使い分けの例

	感染またはその疑いがある		平常時
消毒液	アルコール	次亜塩素酸ナトリウム希釈液(濃度0.05%) ※嘔吐物等の付着箇所の場合、濃度0.1%	台所用合成洗剤希釈液
消毒場所	パソコン、キーボード、マウス、筆記具、机まわり、電話機・コピー機、キャビネット(金属製)など	カウンター、ドアノブ、スイッチ、不特定多数の人の触れる部分や床など面積の広いところ	アルコール、次亜塩素酸ナトリウム希釈液に準じる
消毒液の特徴	・ゴムの変性 ・手指の消毒には、手指専用のアルコールを使用	・金属の腐食 ・刺激臭が強い	・刺激があるため手指衛生には不適切
使用上の注意	・2度拭きなし ・アルコール濃度70%以上の物を使用する	・人体の消毒には使えません。皮膚についた場合、直ちに流水で洗い流します ・酸性のものと混ぜないこと、有毒ガスが発生し危険です。 ・消毒作業から5分後に水で拭き取る ・水拭きできないものには使用しない(水が染み込むもの) 各消毒液は混ぜない	・台所用合成洗剤原液を200倍に薄めて使用する(水1Lに洗剤5mlを加える)

※界面活性剤はコロナウイルスの油膜を破壊する作用があり、台所用合成洗剤希釈液やマイペット等は物品消毒・環境清掃の代用品となる。

6. 作業終了後のガウン等の脱ぎ方(表面に触れずに脱ぐ)

①ガウンの表を掴む



②肩から順に脱ぐ



③表を裏にする



④袖を抜きながらゴム手袋を脱ぐ



⑤、⑥素手で表に触れないように小さくまとめる



⑦ゴミ箱に落として捨てる



⑧手指消毒



⑨ゴーグルをアルコール消毒



ゴーグルは再利用します

⑩マスクを捨てる(※)



※マスクを捨てる際にはひもやゴムをつまみ、表面に触れない。

⑪密閉して燃えるごみとして捨てます



使用後のマスク・ガウン
拭取り後のペーパータオルなど

⑫手洗いや手指消毒



仕上げ: 石鹸と流水で丁寧な手洗い、
または、手指消毒。

⑬終了



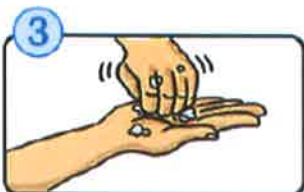
7. 手洗い

マメに 正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



- 
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 
手の甲をのばすようにこすります。
- 
指先・爪の間を念入りにこすります。
- 
指の間を洗います。
- 
親指と手のひらをねじり洗います。
- 
手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

マメに手洗い、マメにマスクでインフルエンザ予防！

厚生労働省



汚れの残りやすい箇所

指先、指の間、爪の間、
親指の周り、手首

※手洗い後、使用するタオル等は
清潔なものを使用し、共有は避けま
しょう。

8. 次亜塩素酸消毒液の作成

塩素系漂白剤と水を用いて「0.05%次亜塩素酸消毒液」を作る。

使用する塩素系漂白剤の原液が次亜塩素酸ナトリウム濃度5%の場合、500mlのペットボトルに、通常飲料が入っている程度の水と、キャップ1杯分の漂白剤を入れる。

	漂白剤の量	水の量
	5ml ペットボトルキャップ 1杯(5ml)	500ml
0.05%次亜塩素酸ナトリウムの消毒剤 (500ppm)		

0.1%次亜塩素酸消毒液を作成する場合、ペットボトルキャップ2杯分(10ml)を用いる

※作り置きをすると、消毒剤としての効果が薄れる。あまた、誤って消毒以外の用途に使ってしまうなどの事故が考えられるため、余った分は廃棄する。